

製造間接費 第1問 問題

次の各問に答えなさい。

1. 当工場は、直接作業時間を配賦基準として製造間接費を実際配賦している。次の資料にもとづいて、各仕掛品への製造間接費配賦額を求めなさい。

(資料)	製造間接費実際発生額	500,000 円
	工場全体の直接作業時間	500 時間
	仕掛品 X の直接作業時間	200 時間
	仕掛品 Y の直接作業時間	175 時間
	仕掛品 Z の直接作業時間	125 時間

仕掛品 X への実際配賦額	円
仕掛品 Y への実際配賦額	円
仕掛品 Z への実際配賦額	円

2. 当月の実績データは次のとおりであった。製品別配賦基準として、(1) 直接労務費基準、(2) 直接作業時間基準、および (3) 機械作業時間基準を用いる場合のそれぞれについて、製品 S への製造間接費実際配賦額を計算しなさい。

(当月の実績データ)

	工場全体	製品 S
製造間接費	432,000 円	?
直接労務費	600,000 円	210,000 円
直接作業時間	37,500 時間	12,000 時間
機械作業時間	72,000 時間	17,000 時間

(1)	円
(2)	円
(3)	円

製造間接費 第1問 模範解答

1.

仕掛品 X への実際配賦額	200,000	円
仕掛品 Y への実際配賦額	175,000	円
仕掛品 Z への実際配賦額	125,000	円

2.

(1)	151,200	円
(2)	138,240	円
(3)	102,000	円

【解説】

1. 仕掛品 X ; $\frac{500,000 \text{ 円}}{500 \text{ 時間}} \times 200 \text{ 時間} = 200,000 \text{ 円}$

仕掛品 Y ; $\frac{500,000 \text{ 円}}{500 \text{ 時間}} \times 175 \text{ 時間} = 175,000 \text{ 円}$

仕掛品 Z ; $\frac{500,000 \text{ 円}}{500 \text{ 時間}} \times 125 \text{ 時間} = 125,000 \text{ 円}$

2. 製造間接費の製品 S への配賦額は、製造間接費実際発生額を各基準となる工場全体で割って配賦率を求め、それに製品 S を製造するために要した金額や時間を掛けて計算する。

(1) 直接労務費基準 ; $\frac{432,000 \text{ 円}}{600,000 \text{ 円}} \times 210,000 \text{ 円} = 151,200 \text{ 円}$

(2) 直接作業時間基準 ; $\frac{432,000 \text{ 円}}{37,500 \text{ 時間}} \times 12,000 \text{ 時間} = 138,240 \text{ 円}$

(3) 機械作業時間基準 ; $\frac{432,000 \text{ 円}}{72,000 \text{ 時間}} \times 17,000 \text{ 時間} = 102,000 \text{ 円}$